

普及現地情報



発信年月日：令和6年(2024年)3月5日
所属名：東近江農産普及課西部
番号：E22008
部門分類：355 (スマート農業)
発信者名：田中豊、清水、大角、他

「水田利用スマート農業技術研修会」を開催

2月18日、管内の土地利用型経営体を対象にスマート農業の導入効果や先端技術について紹介する研修会を東近江地域農業センターと連携して五箇荘コミュニティセンターで開催しました。当日は、農業者や関係機関から計143名の参加がありました。

東近江地域での土地利用型農業におけるスマート農業の導入は、防除用ドローンや直進田植機では進んでいるものの、他の農業機械や営農管理システムなどは、まだまだ少ない状況であり、さらなるスマート農業の普及による農業生産性の向上と農業経営の発展が望まれます。

研修会では、「スマート農業による新しい農業経営～楽する、ワクワクする、儲かる農業～」というテーマで、農研機構みどり戦略・スマート農業推進室の梅本氏から講演いただきました。その後、ザルビオ®フィールドマネージャー（以下、ザルビオ）をBASFジャパン（株）から、Z-GISをJA全農しがから情報提供いただき、当課からザルビオの活用による実証結果の報告と農作業安全についての啓発を行いました。

さらに、各農業機械メーカーから水田農業におけるRTKネットワークシステムを活用した最新の農作業機械の紹介とブース展示をしていただきました。

参加者は熱心に聴講され、講演会後には別室に設けた各メーカーのブース展示に足を運ばれ、興味のある機械や技術について情報交換をされるなど、関心の高さがうかがわれました。

当課では、引き続き関係機関と連携し、農業生産性の向上や農業経営の発展に向けたスマート農業技術の導入を支援します。



図1 大ホールでの研修会



図2 小ホールでのブース展示